



# 3年生の特色

1・2年の生活科の学習から無理なくステップアップできるよう、必要な技能を確実に身につけられるコーナーや資料を充実させています。

## ① 社会科の基礎的な技能を確実に身につけられる

「学び方・調べ方コーナー」を多く設け、「社会科1年生」として身につけさせたい技能について、指導がしやすいようにしています。

**学び方・調べ方コーナー**  
**読み取る**  
土地りよう図の読み取り方

**たしかめる**

- 土地の高さの色分け
- 土地の使われ方の記号や色分け

**見つける**

- 土地の高さと使われ方
- 土地の高いところやひくいところは、どのように使われているか。
- おもな山のいちや川の流れ方
- おもな鉄道や道路のようす
- 鉄道や道路が集まっているのは、どのようなところか。

**考える**

- 田や畑は、なぜそこに広がっているのか。
- 鉄道や道路は、なぜそこに集まっているのか。

3年 P.37

**学び方・調べ方コーナー**  
**読み取る**  
地図のくらべ方

**たしかめる**

- 表題をたしかめる。
- 地図記号や、色分けの意味をたしかめる。

**見つける**

- 同じところを見つける。
- ふえているもの、へっているものを見つける。

**考える**

- 読み取ったことから、ぎもんを出したり、予想を立てたりしてみる。

3年 P.135

資料の読み取りに必要な着目点を、**三つのステップに分けて、わかりやすく示しています。**

ひろとさんたちは、学習問題について考えたことを、整理したたんざくカードを見ながら話し合いました。

**話し合いのしかた①**

- 話し合いをはじめる前に、司会を決める。司会の人は、一人ずつじゆんに考えを発表してもらうようにする。
- 話す人は、聞いている人を見ながらゆっくり、はっきりと話す。
- 聞く人は、友だちの考えと自分の考えが同じか、ちがうかを考えながら聞く。
- 司会の人は、出た意見を整理しながら、話し合いを進める。

3年 P.91

国語科との関連に留意し、司会を立てた話し合い活動の例とそのポイントを掲載しています。

## ② わくわく感を高める資料が充実！

子どもが自ら「調べてみたい!」と思えるような、大判イラストや多数の写真、動画コンテンツなど、全国的に活用しやすい資料を豊富に掲載しています。

3年 P.79-80

3年 P.99 出動までの1分間

スーパーマーケットの店内のようすの大判イラストと写真で、子どもの意欲を高めます。見学前の予想や、見学後のふり返りに便利です。

↑オリジナル動画もそろえています。見学活動の実施が困難な時にも活用いただけます。

3年 P.99 出動までの1分間

↑オリジナル動画もそろえています。見学活動の実施が困難な時にも活用いただけます。

教科書の流れや掲載資料を参考にして、**地域副読本**を使った授業にも生かすことができます。



# 4年生の特色

4年生になると、都道府県の学習がはじまります。自分の住む都道府県や日本の47都道府県の学習を、紙面とQRコンテンツの両面からサポートしています。

## ① 日本の47都道府県の学習に親しみやすく

豊富な写真資料やアプリケーション「すごろく×カード」をご用意し、47都道府県の名称や位置について手軽に、そして楽しく学習できるようにしています。

4年 P.9-10

都道府県の特色を表す写真を多数掲載した、ビジュアルなページです。

4年～6年 「すごろく×カード」

子どもの興味・関心を喚起するアプリケーション「すごろく×カード」です。授業の導入ですぐに使うことができ、授業準備もスムーズにできます。4・5・6年生の学習内容に合わせたテーマを取り揃えています。

## ② 自然災害単元の学習の充実

主単元の事例を、2019(令和元)年台風19号による風水害に更新。このほか、選択事例で地震・津波、学習資料で火山・雪害の内容を取り上げ、それぞれの災害への対処と備えを網羅しています。

4年 P.80-81

↑写真を大きく掲載し、年表と地図で過去の災害を概観できるようにしています。

4年 P.91

防災アプリなど、最新の事例も掲載しています。



4年 P.84

**荒川下流河川事務所の早川さんの話**

台風19号のときは、荒川上流からの水が増水していたので、隅田川の水がいて防をこえるおそれがありました。そこで、荒川と隅田川に水を分けて流す岩淵水門をとじました。こうすることにより、はんらんを防ぐことができました。

4年 P.84



# 5年生の特色

5年生は、日本全体の学習をします。自分の住む地域から距離が離れた事例が増え、内容が難しくなる分、事象を捉えやすいよう紙面をくふうしています。

## ① どの事例でもよくわかる！資料の充実

中学年と比べて、自分たちの住む地域から離れた事例が多くなり、見学に行くことが難しくなることも考えられます。見学へ行けなくても事例地のことをイメージできるよう、教科書紙面上の資料やQRコンテンツを充実させています。

**動画コンテンツ**

このページには、様々な事例の動画が掲載されています。例えば、温暖な土地と寒い土地の比較、スマート農業の様子、社会問題の解説などが含まれています。

5年 P.36-37 ↑あたたかい土地と寒い土地のようすがわかるよう、写真やグラフなどの資料を充実させ、さらに動画や外部リンクの二次元コードを掲載しています。

**外部リンク (動画コンテンツ)**

教科書には掲載されていない追加の動画や外部リンクが提供されています。これにより、学習の深まりと理解の促進を図っています。

5年 P.52-53

## ② バリエーション豊かな表現活動

タブレットなどを用いる、図にまとめるなど、さまざまな表現活動を提案しています。

**③ まなさんのタブレット (見直し)**

生産者の立場から考えると、働く人の負担が減り、収入が増えれば、新しく農業をはじめたいと思う人が増える。

**④ れんさんのタブレット (見直し)**

消費者の立場から考えると、スマート農業が広がれば、日本の高い技術を受けつぎやすくなり、安全でおいしい農作物を食べ続けることができる。

5年 P.133 ↑タブレットなどで考えをまとめる

**まなさんの発表**

わたしが食べている水産物は、沖合漁業、遠洋漁業、沿岸漁業、養殖などで行われています。わたしが住んでいる地域は、養殖が盛んなので、このグラフのように、養殖の割合が大きいことがわかります。また、養殖は、遠くまで運ぶ必要がなく、新鮮な状態で食べることができます。また、環境が悪化すると、養殖も大変な状況になります。ですから、環境を大切にすることが大切だと思います。

**↑出てきた資料を根拠として自分の考えを発表する**

考えたことを関係図にまとめる

5年 P.105

5年 P.159

## ③ 現代的な諸課題に関する教材を豊富に掲載

自分たちの暮らしを見つめ直すような現代的な諸課題に関する教材を豊富に取り上げ、学習できるようにしています。日本の産業の学習単元では、これからの産業の明るい未来を感じられる事例を紹介しています。また、世界で起こっている事象にも目を向けられるように資料を精選しています。



① ③人が乗る必要のないトラクター(上)と、ドローンによる葉の散布(下)

5年 P.130

↑スマート農業やSociety5.0など、産業の最新のあり方を考えることができます。



② ドローンによる荷物の配送

これからの社会は、Society 5.0とよばれることがあります。Society 5.0では、人々はインターネットでさまざまな知識や情報を共有します。その大量の情報を人工知能(AI)が分けることで、あらたな価値が産業や社会にもたらされるのです。Society 5.0のもとの工業では、工場間の連携を高めて生産効率を上げたり、職人の技術を受けつぎやすくしたり、運輸を効率的におこなったりすることが期待されます。

5年 P.189



④ 自動ほんやく(上)と、ふれずに操作できる券売機(下)

**キーワード**  
Society 5.0  
狩猟社会(1.0)、農耕社会(2.0)、工業社会(3.0)、情報社会(4.0)に続く、あらたな社会のこと。先進技術を使って、経済発展と社会的課題の解決の両方を実現し、一人一人が快適でかつやくできる社会をめざしています。

## 考えよう！SDGs



世界の子どものおよそ10人に1人が、今も農園などで働いています。アフリカでは、チョコレートやココアの原料になるカカオのさいばいや収穫のために、学校に行けない子どももいます。外国から安く品物を輸入することで、相手の国がますます貧しくなる危険があるのです。



④ 子どもが働いているようす (コートジボワール)

5年 P.181

↑SDGsに関わる問題や取り組みについて取り上げています。

## ④ 子どもの思考を深める紙面のくふう

学習する子どもの思考がより深まるように、キャラクターがアドバイスをしたり、話し合いのようすを示したりしています。

**これからの日本の食料生産のあり方を考えよう**

ひらとさんたちは、食料生産の問題を解決する取り組みについて考えたことの「深め合い」をしました。

**発表**

これまで人でやっていたことを機械がしてくれることで、作業の負担が減り、生産量が増え、収入が増えることにつながります。

**まなさんのタブレット**

1. 生産者の立場から考えると、働く人の負担が減り、収入が増えれば、新しく農業をはじめたいと思う人が増える。

**ひらと**

消費者の立場から考えると、スマート農業が広がれば、日本の高い技術を受けつぎやすくなり、安全でおいしい農作物を食べ続けることができる。

5年 P.132

←これからの食料生産の発展について、消費者と生産者という複数の立場から多角的に考えられるよう、促しています。

**まなさんとれんさんの意見は、生産者の立場から考えているよね。わたしたち消費者の立場からも考えてみたらどうか。**

**やってみよう**

身のまわりの工業製品を分類するときには、下の図のような思考ツールを使って分類すると、わかりやすいよ。ためしてみよう。

5年 P.139

↑思考ツールを用いて考えを整理したり広げたりできるように提案しています。

**やってみよう**

下図のような思考ツールを使って、「もし、貿易ができなくなったら」をテーマに考えてみましょう。一つのことからつなげて考えを広げてみましょう。

5年 P.179



# 6年生の特色

6年生では、日本の政治、歴史、世界の国々について学習します。それぞれの単元に身近な教材を提示して、自分ごととして学べるよう構成しました。

## ① 日本国憲法と政治について、身近な教材を通して学習

日本国憲法と日本の政治について、子どもに寄り添う教材を通して学習します。

**6年 P.10-11**

↑障がい者たちの活動(福岡市のJOY倶楽部)を通して、日本国憲法と政治のしくみについて学習します。

**6年 P.36-37**

↑待機児童問題を通して、地方政治のしくみとはたらきについて学習します。

## ② 国際問題を真剣に考える子どもを育てる

日本を取り巻く世界の動きに目を向け、世界における日本のあり方、自分たちの果たすべき役割について考えます。

**6年 P.232-233**

↑大単元導入ページでは、SDGsの集大成として、この単元の学習に意欲をもたせるようになっています。

**6年 P.260-261**

↑世界がかかえるさまざまな問題を解決するために、わたしたちができることを考えられる構成となっています。

## ③ 過去・現在・未来をつなぐ魅力ある歴史学習

親しみやすい教材を取り入れ、高い関心をもって歴史を学んでいけるようくふうしました。また、日本の歴史を正面から見つめ、今を生きる自分にとって、命や人権がいかにたいせつなものであるかを考えさせようとしてしました。

### 歴史単元の導入と終末の充実

**2 日本のあゆみ**

1自分たちの住むまちのなか、歴史のサインを見つける

6年 P.62-63  
↑大単元「2日本のあゆみ」の導入では、大きな図版を掲載し、歴史学習へのわくわく感を高めます。

日本の歴史の学習を終えて

きんは歴史のサインをいくつか見つけたかな

6年 P.228-229  
↑歴史の導入だけでなく、大単元の終末に「日本の歴史の学習を終えて」を掲載しました。歴史を学ぶ意味をみんなで考えることができます。

### 戦争について具体的事例をくわしく紹介

小単元「11アジア・太平洋に広がる戦争」では、沖縄戦のページを増やし、戦争についてくわしく考えられるようにしています。

6年 P.208-209

### 歴史学者の磯田道史先生と学ぶ



日本の歴史の学習 磯田道史先生からの手紙

6年 P.60-61  
↑初めて日本の歴史を学習する子どもたちに、歴史学者の磯田道史先生から手紙が届きます。歴史が好きな子にも、苦手に思っている子にも、磯田先生が歴史学習のおもしろさを語りかけています。

磯田道史先生の歴史ノート

江戸時代の自然災害

6年 P.162-163  
↑磯田道史先生の歴史ノートでは、「江戸時代の自然災害」として、約300年前におきた富士山の大噴火から災害について考えます。



磯田道史先生のお話はこちら！